

1. 科目名 (単位数)	特別活動の指導法 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE2307 SJTC2412 SJTC3412
2. 授業担当教員	安次嶺 隆幸		
4. 授業形態	◇講義、演習、模擬実習、グループワーク、ディスカッションなど 例：導入：講義によって課題の把握→展開（演習）：自分の考えをまとめる→グループでの話し合い→グループの考えを発表→全体での協議→まとめ：協議内容を含め講義のまとめ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	◇ 特別活動は、児童の自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめ問題などに対する予防的な役割を果たすなど、児童の成長に欠かせない教育活動である。そこで、特別活動の意義や目標を確認し、その背景となる理論を理解するとともに、実践的な指導の在り方を身につけさせる。 ◇ 特別活動の方法原理や基本的な用語などの確認をしながら、学級活動を中心とした授業力等の理解と習得を図る。 ◇ 演習内容は、小学校における「学級活動」を中心にその授業力・指導力を育成するものとする。学級活動を中心に演習を展開する理由は、学級活動が特別活動の中核であり、集団成員としての望ましい資質や能力・態度を育て、人間としての生き方に関する指導を行うことであるとともに、生徒指導の全機能が補充・深化・統合される場として重要であるからである。また、教科書もなく学級担任としての力量が学級担任になると即刻問われるからである。		
8. 学習目標	1. 特別活動の目標や内容、特質と教育課程における位置づけについて理解し、教育課程全体を意識して計画や指導を行うことができるようになる。 2. 特別活動における評価・改善活動の重要性を理解し、適切な評価・改善活動を実践できるようになる。 3. 小学校における特別活動の中核となる「学級活動」について、その特質を理解した上で、計画委員会が主体となって授業を展開する指導案(展開案)を作成し、合意形成に向けた話し合い活動を指導できるようになる。 4. 特別活動における家庭、地域等との連携のあり方について理解し、指導に活かせるようになる。		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	★ノート指定 ツバメノートA4品番A5008 JAN:4968796311105 一冊を準備しておくこと。毎回これを出席、課題レポートに使用します。毎回プリント課題を配布しますので、このノートに貼り、授業後に提出します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 ◇小学校学習指導要領解説 特別活動編 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) ◇「将棋を指す子が伸びる理由」(小学館クリエイティブ) 安次嶺隆幸著 【参考書】 生徒指導提要 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 教養としての将棋 (講談社現代新書) 羽生善治・梅原猛・尾本恵一・安次嶺隆幸 共著		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 特別活動の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくることができる。 2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等) 総合点の 20 % 2. 日常の学習状況 (出席・提出物) 総合点の 30 % 3. 課題レポート (中間・期末) 総合点の 50 %		
12. 受講生へのメッセージ	★特別活動における、将棋の教育的意義の考察 I (春期) この授業では、「将棋」を取り上げ、教職を目指す人材を育成します。特別活動の指導法の一つとして実践していく中で、子ども達の現状、課題を見いだしていきます。また、毎回場面指導を行い、ディスカッションをして教育に携わる専門性を学んでいきます。 また、将棋の基本技術、理論と方法を学び、教職と志す資質も養うことを目指します。この授業を受けることによって、受講者は、次の 3 点ができるようになります。 ・現代の学校現場の問題点を理解し、教職として生きる自分の夢を実現する基本姿勢を養うことができる。 ・教師として、児童理解、指導、学級づくり&授業づくりの理論と方法を理解し、また、将棋の効用を学び、教職に携わる意欲と勇気を育むことができます。 ・現場に教職として就いた時、問題解決ができる様々な方法を学びとることができるようになります。 ★授業の約束 1 座席は指定とする。 2 正当な理由のない遅刻、早退、欠席をしないこと。(やむを得ず欠席する場合は、書面を提出のこと。) 3 携帯電話の電源は切るとともに操作しないこと、及び私語は厳禁のこと。 4 レポート、アサシメントについては、指定した日までに必ず提出すること。(遅れた場合は減点です) 5 予習をするとともに、教育や特別活動に関連する図書や新聞記事に関心をもち読むこと。 6 教員を目指す大学生としての自覚と覚悟をもち、その品位を保つこと。 ★メッセージ 特別活動に関する理論と実践を踏まえながら、毎回【場面指導】を取り入れ、教師としての資質を高めていきます。また、学級作り、対人関係、コミュニケーションツールとしても注目されている「将棋の教育的意義」も学んでいきます。その歴史を紐解き、建学の精神にある、理論的・科学的思考力、実践的能力を統合し、柔軟な思考力を養い、問題発見・解決能力のある教職の資質を身につけ、同時に将棋から学ぶことで受講自身が相手の気持ちや察する力が身につく。実技も交えながら、将棋を指す実体験をすることで、児童の気持ちを体感し、自分の教育観の土台を作り、教職に就く時の礎にして欲しい。		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。		

14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<p>話は目で聴く・オリエンテーション・座席指定（毎回変更）・出席感想カード・指定ノート・学習目標・場面指導・礼に始まり礼に終わる「3つの礼」等 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.1～特別活動の改訂の経緯を学び、「将棋」の位置を理解する。 課題：将棋で身に付く礼儀作法～3つの礼と心構え～ 「負けました」投了で味わう悔しさと心の成長 演習：将棋遊び①</p>	事前学習	『小学校学習指導要領解説 特別活動編』を概観してくる
		事後学習	レポート課題1「将棋の3つの礼について」考えを整理してくる。
第2回	<p>場面指導・学級活動の3箇条 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.11～特別活動の目標の音読、解説、ディスカッション。特別活動の方法原理や基本的な用語などの確認 課題：感想戦で自己反省と共に相手と共有してより高みを目指す意識、無言の声援がつかなく親子の絆 演習：将棋遊び②</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.11～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題2「感想戦について」考えを整理してくる。
第3回	<p>場面指導・初めての学級指導 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.20～特別活動の目標と各活動・学校行事の目標との関連についての音読、解説、ディスカッション 課題：勝ち負けよりも喜ぶべき子どもの成長一戦の負けよりも振り返って次へ活かす勇氣 演習：将棋遊び③</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.20～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題3「勝ち負けよりも喜ぶべき子どもの成長について」考えを整理してくる。
第4回	<p>場面指導・特活の6つの学習過程 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.24～特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義についての音読、解説、ディスカッション 課題：創意工夫によって形を変える「遊び」本来の姿コンパクトに小さく簡素にする日本の文化 演習：将棋遊び④</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.24～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題4「コンパクトに小さく簡素にする日本の文化について」考えを整理してくる。
第5回	<p>場面指導・出来なかった子が出た時 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.43～学級活動の目標、内容、指導計画について音読、解説、ディスカッション 課題：駒は仕舞って駒箱へ～道具を大切に仕舞う心～相手の気持ちになって考えること 演習：将棋遊び⑤</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.43～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題5「駒を仕舞うことについて」考えを整理してくる。
第6回	<p>場面指導・学ぶはまねる 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.84～児童会活動の目標、内容、指導計画について音読、解説、ディスカッション 課題：学べば学んだだけ強くなれる実体験、常に一手を選択する判断力と自己責任 演習：将棋遊び⑥</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.84～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題6「一手を選択する判断力と自己責任について」考えを整理してくる。
第7回	<p>場面指導・小さな石ころの話 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.102～クラブ活動の目標、内容、指導計画についての音読、解説、ディスカッション 課題：頼れるものは自分自身のみ！真剣勝負の経験損して得を取る、合理性と論理的思考力 演習：将棋遊び⑦</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.102～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題7「合理性と論理的思考力について」考えを整理してくる。
第8回	<p>場面指導・奪ってはいけない 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.116～学校行事の目標、内容、指導計画についての音読、解説、ディスカッション 課題：相手の手番を「待つ行為」で身につく集中力と忍耐力、読みを「考え続ける筋肉」を訓練することが、地道な努力の土台を作る 演習：将棋遊び⑧</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.116～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題8「待つ行為、考える筋肉について」考えを整理してくる。
第9回	<p>場面指導・子供に寄り添う 教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.136～主体的・対話的で深い学び、指導計画作成についての音読、解説、ディスカッション 課題：秒読み30秒！決断力と第一感、自分の経験と読みを信じる力 演習：将棋遊び⑨</p>	事前学習	教科書『小学校学習指導要領解説 特別活動編』p.136～を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題9「決断力と第一感」について考えを整理してくる。

第10回	場面指導・細い一本道 教科書「将棋を指す子が伸びる理由」の序章、音読、解説、ディスカッション 課題：不利な形勢でも諦めず逆転を生むために辛抱する力 持ち時間を余すことなく使い切るまで考え続ける集中力 演習：将棋の実戦①	事前学習	教科書「将棋を指す子が伸びる理由」序章を熟読してくる。将棋の駒の動かし方を復習してくる。
		事後学習	レポート課題10「実戦対局してみたの感想」をノートに書いてくる。
第11回	場面指導・担任の一言 教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第1章将棋で伸びる力①、音読、解説、ディスカッション 課題：盤を介して行われる、相手と濃密なコミュニケーション 多方面の視点～全体感と局所の戦い～ 演習：将棋の実戦②	事前学習	教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第1章を熟読してくる。将棋の駒の動かし方を調べてくる。
		事後学習	レポート課題11「学級活動での個が生きる特別活動指導案」を考えてくる。
第12回	場面指導・何故廊下を走ってはいけないのか 教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第1章将棋で伸びる力②、音読、解説、ディスカッション 課題：一歩落ち着いて相手の出方を見る、冷静な視点、小心に見える態度も、じっくりと考えて行動する「細心の注意」 演習：将棋の実戦③	事前学習	教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第1章を熟読してくる。将棋の駒の動かし方を復習してくる。
		事後学習	レポート課題12「学級活動での個が生きる特別活動指導案」を推敲・リハーサルをしてくる。
第13回	個が生きる特別活動の指導法① 教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第1章将棋で伸びる力③、音読、解説、ディスカッション 指導案発表① グループ発表① 子どもの育む夢をサポートするのが大人の役割、不断の努力で身についた結果が「指運」をつかみ取る 演習：将棋の実戦④	事前学習	教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第1章を熟読してくる。将棋の駒の動かし方をマスターする。
		事後学習	レポート課題13「模擬授業の指導案」の反省
第14回	個が生きる特別活動の指導法② 教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第2章将棋で育む語りかけ、音読、解説、ディスカッション 指導案発表② 模擬授業グループ発表② 模擬授業、反省、ディスカッション、振りかえり 課題：現代社会で日本人が忘れていたものを取り戻す一歩でも前に進んだ、成長を喜び合おう	事前学習	教科書「将棋を指す子が伸びる理由」第2章を熟読してくる。
		事後学習	レポート課題14「模擬授業の指導案」の反省
第15回	「特別活動の指導法」の講義を受けて、学んだこと、自分が成長したこと、これからこれをどう活かしていくか（800字）で書く。 教科書「将棋を指す子が伸びる理由」あとがき、音読、解説、ディスカッション 指導案発表③ 全体発表 模擬授業、反省、ディスカッション、振りかえり 課題：失敗を恐れずにチャレンジ！一恥の文化とリセットボタンの弊害一、動きの異なる8種類の駒～能力と適材適所～	事前学習	教科書「将棋を指す子が伸びる理由」[あとがき]を熟読してくる。
		事後学習	「15回の授業を終えての感想、振りかえり」、レポート課題15「自己変容、これからの抱負」レポート提出